

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第3回朝霞第三中学校学校運営協議会	
開催日時	令和7年10月25日（土） 午前11時45分から午後1時00分まで	
開催場所	朝霞第三中学校 図書室	
出席者の職・氏名	・会長 白鳥 成章 ・副会長 關野 武男 ・委員 中村 菜々子・委員 渡辺 聡 ・校長 野口 邦彦 ・講演会講師 安原 輝彦（大学教授） 司会・記録：犬木 勝（教頭） 金田 昌大（教務主任）	
欠席者の職・氏名	・委員 正野 寛樹 ・委員 金子 雅美 ・委員 後藤 顕一	
議題	（1）教育講演会の内容について （2）これからの朝霞市、朝霞三中の教育について （3）2，3学期の教育活動について （4）その他	
会議資料	（1）第3回学校運営協議会次第 （2）学校評価について	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 司会・記録 による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【協議】

（１）講演会の内容について

委員B：学校運営協議会が今日の講演の内容にあった生徒の自立にどのように関わっていけるか。

講師：学校の先生方と学校運営協議会の距離が近いかが重要。
本当は地域や家庭に関わってほしいと思っている教員もいるなかで、学校運営協議会への関わりについて温度差がある。教員の人事異動の問題もあり、地域との関係性を築いても学校を異動しなければならない。地域の人とのつながりを作ったところで切れてしまい、入り込めない部分がある。その状況のなかで改善点を見つけなければならない。

校長：保護者と中学生への接し方を共有する講演会などの機会を今後また設けたい。

委員A：学校運営協議会として、保護者と学校の共有の機会作りを行えるとよい。

委員D：講師の先生のおっしゃるような失敗させる機会を設ける考え方が共有できるとよい。

講師：欧米の子育て感覚は父母で分担。日本は家、家族の価値観。時代的、環境的に子供の自立のチャンスが少なくなっている。

委員D：自分も自立してないかもしれないと感じた。過干渉で育てられた保護者の方もいるなかで、子供に対して今日のような学びがあるとよいと思う。子供が親の自立を促す。

委員C：子供も自分は自立しているか、自立したいか考える機会を作ることも大事なのではないかな。

講師：子供たちは体験が不足している。体験を多くさせたい。

校長：学校に来る意味を再確認したい。

委員A：親世代が地元と関わりたがらないこともある。地域との関わりのなかで育つ部分がある。

講師：人からどう評価されるかを日本人は心配する。失敗談を共有するなかで安心感や学びを得るがその機会が減っている。

校長：今回は講演会のあとに保護者同士の話し合いの機会を設けたいと考えている。

委員A：教員も入って話し合うとよいのではないかな。

委員B：先生方が言いにくいことを周知するなど、学校運営協議会は先生方を守る役目もあるのではないかな。

委員D：PTAの家庭教育学級がなくなってしまったが、今日のような活動はよい機会だった。

1 開会 委員長あいさつ

委員長：一人一人の個性は大切にしなければいけないが、何を大切にするかベクトルは必要。運営協議会がどう周知していけるかが課題。

2 学校長あいさつ

校長：今日はトライアルであったが、今後意見交換の機会を設けることができれば。一緒に育てていく感覚をもっていきたい。言いたいことを言い合える関

係をもっていけるとよい。

3 協議

(2) これからの朝霞市、三中の教育について

校 長：(朝霞市の部活動の方向性について説明。)

委 員C：部活動自体がなくなるわけではないことについて安心する保護者が多いと思う。

校 長：休日と平日の切り離しが課題である。学校施設を使うことは避けられないと思う。

委 員A：平日と土日の指導者の方針の違いなどが懸念事項である。

委 員C：部活動とクラブチーム所属のすみ分け、費用負担の違いなどについても懸念事項である。

(3) 2, 3学期の教育活動について

教 頭：①2学期の教育活動について報告。

②夏服にポロシャツを選択の一つとして導入することについて説明。

委 員A：自治の取組を今後も進めてほしい。

委員全員：ポロシャツの導入について学校運営協議会で承認して、今後進めることを確認。

(4) その他

教務主任：学校評価について学校関係者評価のスケジュールについて説明。

市内共通項目について説明、評価項目について意見の募集。

委 員：保護者の回答率を上げられるとよい。こちらの項目でよいのではないか。

4 連絡

教頭より

- ・第4回学校運営協議会の開催2月3日(火)午前中に仮決めとする。
- ・「学校だより」の周知。

5 閉会のことば

副委員長：引き続き、学校運営協議会を生かす取組ができれば。